

令和5年度 事業計画

市町村振興宝くじ及び新市町村振興宝くじの収益金等を財源として、市町の健全な発展を図るため、次の諸事業を行う。

1 貸付事業 [予算額 3,849,400千円]

基金貸付規則に基づき、市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）収益金による基金を原資として、市町に対し資金の貸し付けを行う。

(1) 長期貸付 [予算額 3,449,400千円]

地方債発行の届出、協議における同意、又は許可を受けた施設等整備事業

利率：（注）のとおり

償還の方法：半年賦元金均等償還 償還期限及び据置期間：20年以内（うち据置3年以内）

(2) 短期貸付 [予算額 400,000千円]

災害関連事業等

利率：無利息 償還の方法：会計年度内に一括償還

(注)

10年以内0.05%、10年超15年以内0.08%、15年超20年以内は0.14%を最低貸付利率とし、財政融資資金の貸付金利が最低貸付利率を上回る場合は右表のとおり。

財政融資資金貸付金利	貸付金利
最低貸付利率以上0.3%未満	財政融資資金貸付金利と同金利
0.3%以上0.7%未満	0.3%
0.7%以上3.3%未満	財政融資資金貸付金利-0.3%
3.3%以上	3%

2 市町村振興宝くじ等交付金交付事業 [予算額 1,268,952千円]

《対象》 地方財政法第32条に規定する事業（公共事業や公益の増進を目的とする事業で、地方財政の運営上緊急に推進する必要があるものとして総務省令で定める事業）

(1) 市町村振興宝くじ交付金交付事業 [予算額 769,952千円]

令和4年度において交付を受けた市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）及びクイックワン収益金（サマー補てん分）から、全国市町村振興協会への納付金及び社会貢献広報事業費（令和4年度事業繰越分を除く）を控除した額の4分の1を市町支援事業へ充当し、4分の3を均等割3割、人口割7割の基準で市町に交付

① 社会貢献広報事業 [予算額 61,866千円] (内令和4年度事業繰越分5,900千円)

② 市町支援事業 [予算額 177,000千円]

③ 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）交付金市町交付事業 [予算額 531,086千円]

(2) 新市町村振興宝くじ交付金交付事業 [予算額 499,000千円]

新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）の収益金及びクイックワン収益金（ハロウィン補てん分）を均等割3割、人口割7割の基準で市町に交付

3 市町振興助成事業 [予算額 51,486千円]

(1) 2023デスティネーションキャンペーン事業助成 [予算額 40,000千円]

兵庫県の観光の魅力を全国に発信し、兵庫県及び市町等が誘客促進を図るために、兵庫デスティネーションキャンペーン推進協議会が令和4年度から5年度に実施する「2023デスティネーションキャンペーン」の市町負担額を助成。

なお、令和4年度は80,000千円を助成済。2か年での事業費総額は120,000千円。

(2) 研修研究助成事業 [予算額 11,400千円]

地方自治関係団体が実施する研修研究事業に対して助成

① 複数市町等共同研究事業助成 [予算額 3,000千円]

・複数市町等共同研究事業助成 [うち、予算額 2,000千円]

複数の市町等職員で構成する共同研究グループが行う調査研究に対して助成

・市町連携促進事業助成 [うち、予算額 1,000千円]

AI・RPA等の新技術の共同導入等に関して、市町が自主的に連携して調査研究に取り組むことを促進するため、令和3年度から令和5年度までの3か年事業として専門人材派遣に係る費用を助成

② 地方自治関係団体への助成 [予算額 8,400千円]

兵庫県市長会、兵庫県町村会、兵庫県市議会議長会、兵庫県町議会議長会等の行う研修研究事業等に対して助成

(3) ひょうご防災ネットとJ-ALERT連携事業 [予算額 86千円]

ひょうご防災ネットとJ-ALERTを連携し、県下全市町で利用するためのインターネット回線利用料を助成

4 研修事業 [予算額 58,762千円]

(1) 市町村職員中央研修所等研修受講経費助成 [予算額 8,070千円]

市町村職員中央研修所（千葉県千葉市）及び全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）が主催する研修に市町等職員が参加した場合の経費への助成

(2) 救急救命士養成事業 [予算額 18,000千円]

救急救命士養成課程に市町等職員が参加した場合の経費への助成

(3) パソコン研修事業 [予算額 6,650千円]

市町職員等を対象に、中級から上級、応用など習熟度に応じたパソコン研修の実施。令和5年度から、実地研修とオンライン研修の2種類を開催。

(4) 市町行財政運営支援事業 [予算額 26,042千円]

兵庫県と協定書を交わし、市町職員を対象として、調査研究事業や研修事業を実施

5 市町情報提供事業 [予算額 4,746千円]

(1) 市町の観光情報や魅力の情報発信事業 [予算額 2,968千円]

- ・グッズの作成・配布
- ・SNS広告の実施
- ・twitterでの市町の情報発信、特産品提供キャンペーン

(2) 「市町要覧」の作成 [予算額 1,778千円]

- ・市町要覧データの作成及び協会ホームページでの情報提供

6 広報宣伝事業 [予算額 4,265千円]

「市町村振興宝くじ」及び「新市町村振興宝くじ」の売上の増加を図るため、また、宝くじ収益金の社会的貢献の意義の周知を図ることで、販売促進につながる広報宣伝活動を行う。

- ・グッズの作成・配布【再掲】
- ・SNS広告の実施【再掲】
- ・デジタルサイネージ広告の実施
- ・Kiss FM KOBE、Kiss PRESSでの情報発信
- ・twitterでの宝くじの情報発信、宝くじ提供キャンペーン
- ・宝くじ提供によるPR
- ・市町等との協力連携
- ・市町広報紙、HPでの公式サイトインターネット販売PR広告の掲載

7 法人管理業務 [予算額 123,592千円]

- ・管理運営に係る経費の支出
- ・評議員会、理事会等の内部組織の運営
- ・本協会ホームページの更新
- ・諸負担金（全国協会納付金等）の納付

8 資金運用

市町への長期貸付以外の資金（基金積立資産等）について、長期的な視点から投資対象及び投資タイミングを分散させることを目的として、次のとおり運用を行う。

	保有限度枠		保有年限制限
	対余裕資金	単一金融機関預金又は発行体での制限	
預金	40%以上	-	10年以上： 余裕資金の20%以内
定期預金		-	
国債	30%以内	-	10年を超えるもの： 余裕資金の50%以内
政府保証債			
地方公共団体金融機構債			
地方債			
財投機関債	30%以内	3億円以内	
一般担保付社債			

・令和5年度運用計画

[令和5年度運用分]

(単位：千円)

区分	運用金額	運用方法		
		種別	期間	金額
サマージャンボ 基金積立資産	4,843,184	定期	1年～10年	3,243,184
		既購入債券	20年	1,000,000
		既購入債券	10年	500,000
		購入予定債券	10年	100,000
財政調整 積立資産	275,383	定期	1年程度	275,383

※債券購入金額は市況により計画通り購入できない場合があるため、購入限度額となる。

[令和5年度内資金分]

(単位：千円)

区分	運用金額	運用方法			備考
		種別	期間	金額	
市町貸付金 (9月償還元金)	1,724,742	定期	6ヵ月 程度	1,724,742	令和5年9月の収入時から令和6年3月の新規貸付時まで定期預金化
サマージャンボ等 交付金 (見込額)	755,800	定期	1年5ヵ 月程度	775,800	令和5年11月から令和7年3月まで定期預金化